

2014年3月期 第1四半期 決算説明資料



日本光電工業株式会社

銘柄コード: 6849

2013年8月1日

1) 決算概要

(単位:百万円、単位未満切捨て)

	2013/3 第1四半期	2014/3 第1四半期	増減率 (%)
売上高	27,775	30,415	9.5
国内売上高	22,784	24,310	6.7
海外売上高	4,991	6,105	22.3
営業利益	2,167	1,552	△ 28.4
経常利益	1,853	2,010	8.4
四半期純利益	1,060	1,316	24.2

為替の影響: 約+7億円(+14.7%)

粗利率: 2013/3 Q1 → 2014/3 Q1
52.1% → 49.9%

販管费率:
2013/3 Q1 → 2014/3 Q1
44.3% → 44.8%

平均レート	(2012/6)	(2013/6)
1ドル	81	96.9
1ユーロ	105	127.1

2) 決算のポイント

売上高：前年同期比 9.5%増

- ・国内：病院・診療所市場が好調に推移し、AEDの販売も好調。全ての商品群で伸長。
- ・海外：円安の影響等により、全ての商品群で増収。デフィブテック社の売上も寄与。

営業利益：前年同期比 28.4%減

- ・原価率：売上構成の変化に加え、円安により輸入原材料・商品の価格が上昇。
- ・販管費：研究開発費の増加、人員の増強。

経常利益：前年同期比 8.4%増

- ・円安により、為替差益292百万円を計上。

3)トピックス①

新商品を相次ぎ発売

生体計測機器

運動負荷心電図測定装置「STS-2100」

虚血性心疾患の診断や心臓リハビリテーション、運動療法等、幅広い用途で使用可能。



心電計「ECG-2350」

中国で開発・生産した普及タイプの心電計。(海外向け)



生体情報モニタ

携帯型受信機「ZT-210P」

送信機の波形と数値をその場で確認できる手のひらサイズの受信機。



検体検査装置

臨床化学分析装置「CHM-4100」

糖尿病の診断指標であるヘモグロビンA1cとC反応性蛋白を測定。POCT対応装置。



3)トピックス②

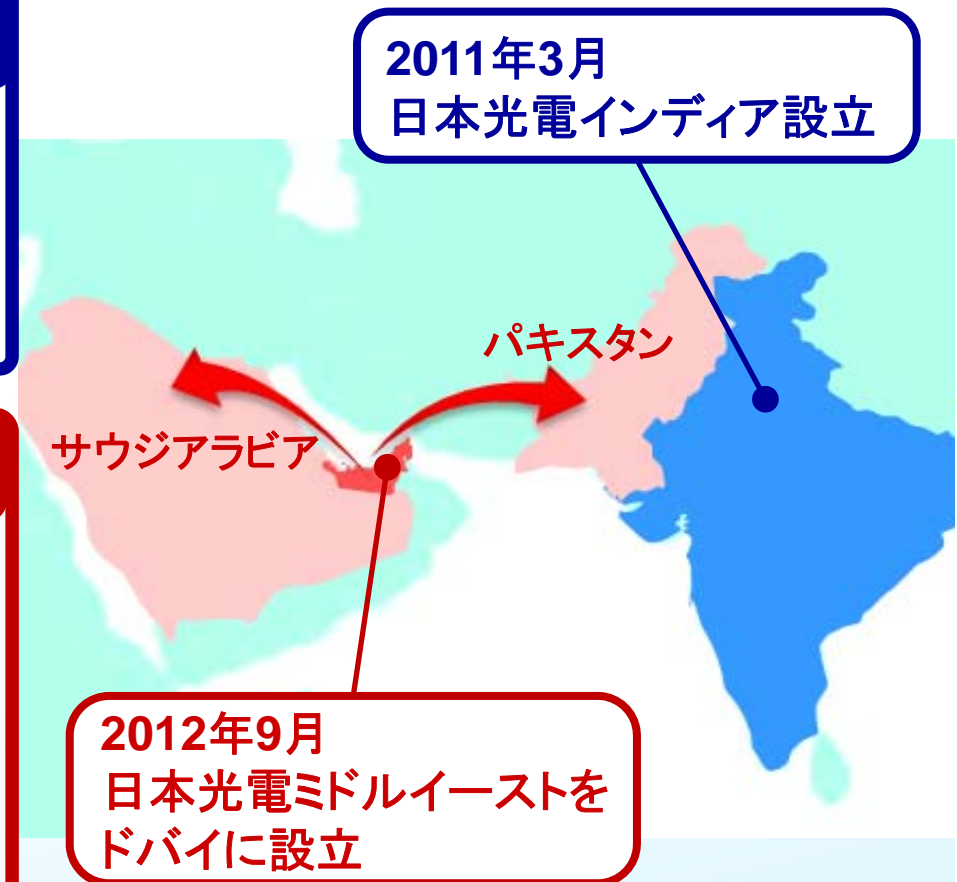
販売・サービス体制を強化したインド、中近東が好調

インド

血球計数器、生体情報モニタが好調に推移し、大幅増収。

中近東

主要国に現地駐在員を配置するなど体制を強化。
全ての商品群が好調に推移し、大幅増収。



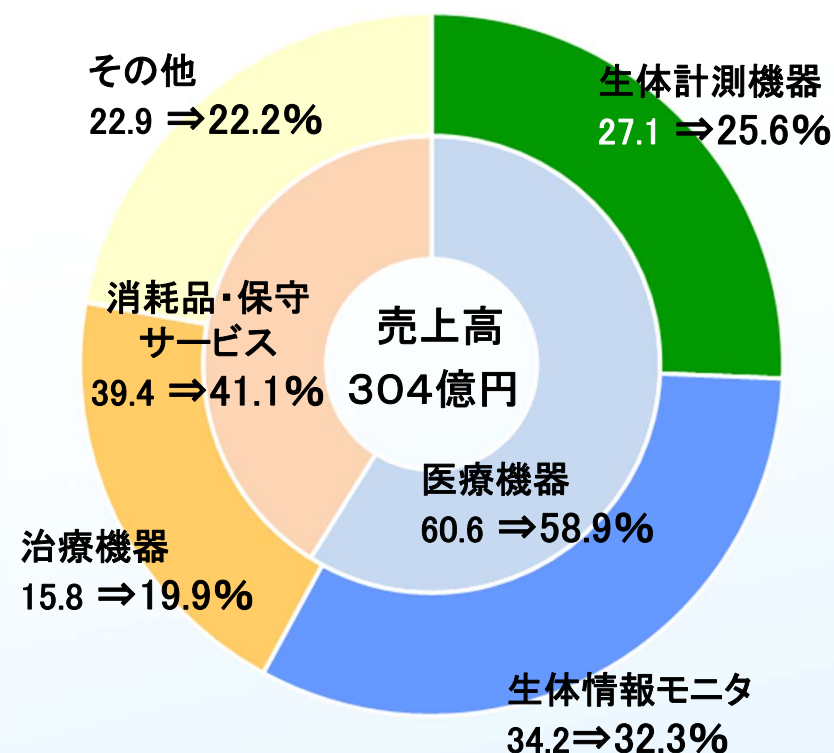
4) 商品群別売上高

(単位:百万円)

	2013/3 第1四半期	2014/3 第1四半期	増減率 (%)
生体計測機器	7,518	7,799	3.7
生体情報モニタ	9,503	9,826	3.4
治療機器	4,393	6,044	37.6
その他	6,360	6,745	6.1
売上高合計	27,775	30,415	9.5
(ご参考)			
消耗品・保守サービス	10,951	12,503	14.2

商品群別売上構成比

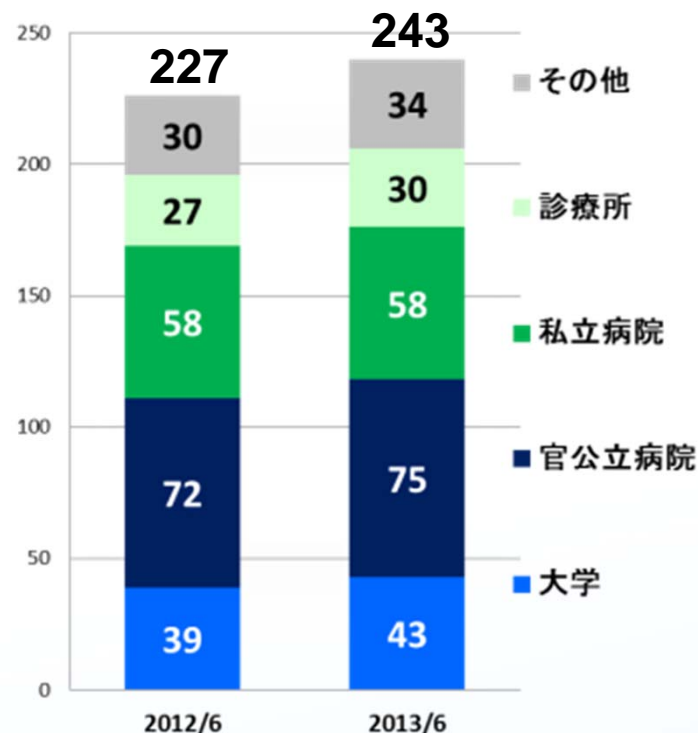
(2012/6 ⇒ 2013/6)



5) 国内売上高

(億円)

【市場別売上高】



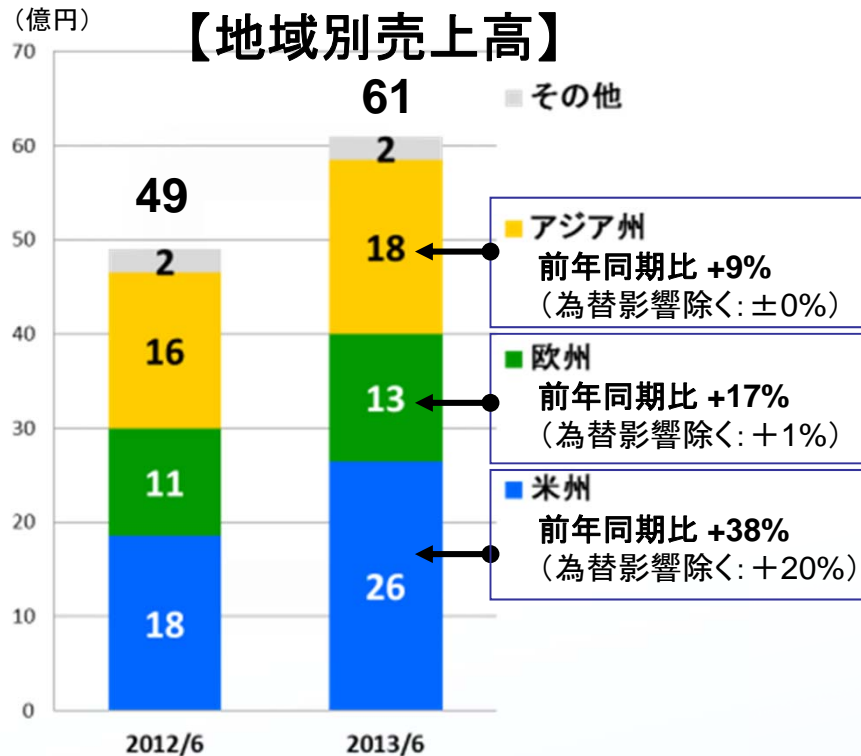
【商品群別売上高】

(単位: 百万円)

	2013/3 第1四半期	2014/3 第1四半期	増減率 (%)
生体計測機器	6,055	6,280	3.7
生体情報モニタ	7,151	7,255	1.4
治療機器	3,917	4,838	23.5
その他	5,659	5,935	4.9
売上高合計	22,784	24,310	6.7

- 【市場別】 大学、官公立病院、診療所市場が好調に推移。AEDの販売が好調だった「その他」市場も伸長。
- 【商品群別】 生体計測機器: 脳神経系群や心臓カテーテル検査装置、診断情報システムが好調に推移。
 生体情報モニタ: 臨床情報システムやセンサ類などの消耗品の売上が伸長。
 治療機器: 新商品効果や更新需要の取り込みによりAEDが大幅に売上を伸ばしたほか、ペースメーカー、ICDの売上も前年同期を上回る。
 その他: 新商品効果により、血球計数器が好調に推移。

6) 海外売上高



【商品群別売上高】 (単位: 百万円)

	2013/3 第1四半期	2014/3 第1四半期	増減率 (%)
生体計測機器	1,463	1,518	3.8
生体情報モニタ	2,352	2,571	9.3
治療機器	475	1,205	153.5
その他	700	809	15.6
売上高合計	4,991	6,105	22.3

為替の影響: 約+7億円 (+14.7%)

【地域別】 米州: 米国で売上が大幅に伸長したほか、中南米も好調に推移。
 欧州: 前年同期のロシアにおける大幅増収の反動もあり、現地通貨ベースでは前年同期並みに推移。
 アジア州: 現地販売・サービスの体制強化を進めるインド、中近東で売上が大きく伸長。
 一方、中国での売上は、日中関係の影響により前年同期を下回る。

【商品群別】 生体計測機器: 脳神経系群が欧州、アジア州で好調だったほか、心電計群が米州、欧州で好調に推移。
 生体情報モニタ: 米州は円安の影響もあり大幅伸長。アジア州は中国の低調をインド、中近東がカバーし、前年同期並みに推移。欧州は前年同期を下回る。
 治療機器: 自社ブランドAEDに加え、デフィブテック社の寄与により全ての地域でAEDが大幅増収。
 その他: 全ての地域で血球計数器が好調に推移。

7) 減価償却費と研究開発費

(単位:百万円)

	2013/3 第1四半期	2014/3 第1四半期	増減額	2013/3 実績	2014/3 計画
減価償却費	624	663	39	2,853	3,500
研究開発費	1,213	1,430	217	6,424	7,300

【2014/3期計画】

主な設備投資:新製品の「型」投資、販促用製品、工場生産設備(5億円)、ERPシステム増強(5億円)

8) 上期・通期業績見通し

(単位: 億円)

	2013/3 実績		2014/3 予想			
	上期	通期	上期	増減率 (%)	通期	増減率 (%)
売上高	605	1,325	660	8.9	1,450	9.4
国内売上高	498	1,102	—	—	1,135	3.0
海外売上高	107	223	—	—	315	41.1
営業利益	54	134	57	5.3	150	11.2
経常利益	51	146	57	9.8	150	2.3
当期純利益	31	91	37	18.0	95	3.8
海外売上高比率	17.8%	16.8%			21.7%	
平均レート						
1ドル	80円	83円	—	—	90円	
1ユーロ	101円	106円	—	—	118円	

[参考]商品群別売上高見通し

(単位:百万円)

	2013/3 実績	2014/3 予想	増減率 (%)
生体計測機器	33,871	36,900	8.9
生体情報モニタ	43,661	47,900	9.7
治療機器	21,604	26,250	21.5
その他	33,400	33,950	1.6
売上高合計	132,538	145,000	9.4
(ご参考)			
消耗品・保守サービス	49,149	52,200	6.2

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

【担当部署】 経営企画室

【連絡先】 TEL03-5996-8003